

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Harmony & Theory II		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Harmony & Theory II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師実務経歴	MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。前記経験を活かし、コンテンポラリーミュージックで必要とされる音楽理論を教える。				
授業概要					
メジャーキー/マイナーキー両方のダイアトニックメロディーとリズムの広い知識とダイアトニックコードの構造、現代ポピュラーミュージックにおいて必要なコードやスケール等の音楽理論の広い知識を学ぶ。					
到達目標					
音楽を理論的側面から捉え、演奏や作編曲等に活用する。					
授業計画・内容					
【前期】1～4回目	Pentatonic scales The Blues Chords Inversions				
【前期】5～10回目	Extended Chords(9th chords) Extended Chords(11th&13th chords) Reviewと中間小テスト				
【前期】11～14回目	Other chord types Modes				
【前期】15～18回目	Harmony & Theory 3 Review Altered Chords				
【後期】1～6回目	Variations in minor harmony Variations in minor melody				
【後期】7～10回目	Modal interchange				
【後期】11～14回目	Reviewと中間小テスト Secondary dominants				
【後期】15～17回目	Diatonic chord substitution Modulation				
【後期】18回目	Harmony & Theory 4 Review Altered Chords				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Harmony & Theory 3. 4				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Ear Training II		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Ear Training II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師実務経歴	実務経歴:20年。MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、ミュージシャンとして必要とされる聴音能力を高め相対音感を身につける授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
ダイアトニックで構成される音楽を相対音感を使って、聴き取り分析する。					
<b>到達目標</b>					
ダイアトニックのメジャーキー/マイナーキー両方におけるメロディー、コード、16分音符を含むリズムと3連符やシャッフルを含むリズムを認識する聴音力の修得。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】1～5回目	16th note rhythms 16th note melody				
【前期】6～10回目	Minor scale variations Reviewと中間小テスト				
【前期】11～15回目	Minor scale harmonic variations Diatonic 7th chords				
【前期】16～18回目	Diatonic 7th chord progressions Review				
【後期】1～5回目	Pentatonic scale melody Blues scales, melody, and rhythm				
【後期】6～9回目	Minor scale variations Natural minor melodies & Inverted triads				
【後期】10～13回目	Minor melodies with rhythm & Blues Melodies Reviewと中間小テスト				
【後期】14～16回目	Diatonic minor key triad progressions Minor key 7th chord progressions				
【後期】17～18回目	Chords & Rhythm Review				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Ear Training 3. 4				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Music Production(Lecture)		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Music Production(Lecture)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師実務経歴	実務経歴:20年 パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントやCM音楽も手掛ける。前記の経験を活かし、セルフプロデュース能力の向上を含め曲作りの幅を広げる授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
ミュージシャンとしての楽曲の聴き方が学べる、サウンドクリエイターコース1年次必修の「Song Analysis/Song Writing」を更に深めた、作曲実践講座。後期では編曲についても採り上げる。					
<b>到達目標</b>					
音楽創りに必要な各Elementsに精通することにより、自分のイメージを音楽で自由に表現するのみならず、プロデュース的な立場においても総合的な判断ができるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】1～5回目 Harmony3	「より豊かな曲調」 Blues, Diminished Chords, Deceptive Resolution				
【前期】6～9回目 Song Analysis	実践 Mode, Modulation: Project提出				
【前期】10～14回 目 Harmony4	「より自由な曲調」 Pedal, Ostinato, Constant Structure, Contiguous Dominant				
【前期】15～18回 目 Harmony4	実践 UST, Ambi Chords, Hybrids, Closed 4th: Project提出				
【後期】1～5回目 Groove Writing	「リズムセクションで色々なスタイルのグルーヴを作ろう」 R&B, Funk, Jazz, Bossa, Samba				
【後期】6～10回目 Groove Writing	「Percussion Groove」 Baião, Partido Alto, Mambo, Cha-Cha, Ska & Reggae: Project提出				
【後期】11～14回 目 Arranging Tech	「ウワモノのアレンジング」 Register, Technique, Articulation(Strings, Wood Winds, Brass)				
【後期】15～18回 目 Arranging Tech	実践 Voicing Tech, DAWでの表現法など : Project提出				
評価方法	4半期ごとのプロジェクト提出(作曲)、出席率、宿題提出を総合的に評価				
使用教科書	必要に応じて講師がプリント等を配布				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Music Production(Training)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Music Production(Training)	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置 学科コース	サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当<input checked="" type="checkbox"/> 非該当<input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、TV、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。前記記載の経験を活かし、制作でのプロデュース面から曲作りのプロジェクトの進行を実践形式にて授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
3人編成のグループを組み、作曲・編曲・ミックスを分担した曲を1学期ごとに3曲提出するグループワーク(3人編成のグループが9週ごとに3曲提出。年間に12曲を提出する)					
<b>到達目標</b>					
スケジュールリングや役割分担の指示など、グループ単位での音楽制作をスムーズに進められるようなビジネス的なスキルを身につける。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～3回目	第1回グループワーク *カバー楽曲の制作 グループ決定、スケジュールプラン提出、ゲスト決定、作曲期間				
【前期】 4～6回目	作詞発注、仮歌録音、プリプロ、編曲期間				
【前期】 7～9回目	譜面作成、レコーディング、ミックス、第1回グループワーク提出&発表				
【前期】 10～18回目	第2回グループワーク *オリジナル楽曲の制作 グループ再構築し、第1回グループワークと同様の流れ				
【後期】 1～9回目	第3回グループワーク *映像と楽曲の制作(映像に合わせた楽曲/楽曲に合わせた映像どちらでも可) グループ再構築し、第2回グループワークと同様の流れ				
【後期】 10～18回目	第4回グループワーク *カバー/オリジナル/映像&楽曲のいずれかで制作 グループ再構築し、第3回グループワークと同様の流れ				
評価方法	グループワーク提出物、及び平常点(授業態度、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて講師がプリント等を配布				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Computer Recording II		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Computer Recording II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師実務経歴	実務経験:10年 MI TOKYO卒業後、様々なアーティストのサポートや音楽プロデューサー「CULTONES」としてアイドル、YouTuber、ダンスグループやヒップホップなどを手掛け、ゲーム、映画など音楽シーン以外の分野でも楽曲提供を行っている。前記経験を活かし、幅広い仕事の中で培ってきた音楽制作の手法やアプローチの方法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
Logic Pro Xを使用したDAWの応用知識と操作、音楽プロデュースの習得。「Project Advising II」「Music Production」と連動しProjectを完成させる					
<b>到達目標</b>					
音楽プロデューサー/クリエイターとしても活動できる知識、テクニックの習得。Projectの完成					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】1～5回目	Project実習。プロジェクトフォルダ内フォルダの説明/システム環境設定。2mix/マルチデータ/ステムデータの違い。ビットレート、サンプリングレートの違いと用途。ハイレゾ/CD/mp3音源の違いと用途。パウンスの説明。オーディオ録音/編集。EQ。コンプレッサー/エキスパンダー。				
【前期】6～10回目	Project実習。録音/コンプ/EQの実践。リバーブ、ディレイなどの空間処理。オーディオミックス。マスタリング、VUメーター、RMSメーター、ラウドネスメーターの活用法。				
【前期】11～15回目	Project実習。MIDI/ソフトウェア音源。シンセ/ストリングス/ブラックなどメロディー楽器についての説明と各パラメーター、使用方法、アレンジ/ミックスでの活用法。波形について Sine/Square/Triangleなどの説明とシンセを使った音作り。				
【前期】16～18回目	Project実習。オートメーション/タイムライン周り、コントロールバー、ツールバー等について。ヴォーカルのピッチ修正、Logic内でピッチ修正、ハーモニーの作成。オートチューン/メロダイニングについて。ジャンル別ミキシング、ヴォーカルミックス、パラデータ/ステムデータ/mixの書き出し方。				
【後期】1～5回目	Project実習、Projectプレゼンテーション				
【後期】6～10回目	Project実習、Projectプレゼンテーション				
【後期】11～15回目	Project実習、Projectプレゼンテーション				
【後期】16～18回目	Project実習、Projectプレゼンテーション				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて講師がプリント等を配布				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Studio workshop		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Studio workshop	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師実務経歴	実務経歴:20年 キーボードプレイヤー。レコーディングやPAのエンジニアも行う。CMやドラマの音源制作で活動中。 前記経験を活かし、レコーディングスタジオを使用してレコーディングエンジニアとしてレコーディングやミックスの知識や技術を教える。				
授業概要					
Recording Studioを使用したProtoolsの応用知識と操作の習得。 「Project Advising II」「Music Production」と連動しProjectを完成させる					
到達目標					
音楽クリエイター/エンジニアリングの知識と技術の習得。Projectの完成					
授業計画・内容					
【前期】1～5回目	「Project Advising II」「Music Production」の各プロジェクトの確認実習:録音・ミックス				
【前期】6～10回目	プロジェクトの中間確認実習:録音・ミックス				
【前期】11～15回目	プロジェクトの中間確認実習:録音・ミックス				
【前期】16～18回目	「Project Advising II」「Music Production」の各プロジェクト提出に向けて実習:録音・ミックス				
【後期】1～5回目	「Project Advising II」「Music Production」の各プロジェクトの確認実習:録音・ミックス				
【後期】6～10回目	プロジェクトの中間確認実習:録音・ミックス				
【後期】11～15回目	プロジェクトの中間確認実習:録音・ミックス				
【後期】16～18回目	「Project Advising II」「Music Production」の各プロジェクト提出に向けて、実習:録音・ミックス				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて講師がプリント等を配布				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Beat Making		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Beat Making	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師実務経歴	MI TOKYO卒業後、様々なアーティストのライブサポートや音楽プロデューサー「CULTONES」としてアイドルからYouTuber、ダンスグループからヒップホップまでを手掛け、ゲームや映画など音楽シーン以外の分野でも楽曲提供を行う。前記経験を活かし、ビートトラックの制作ノウハウを授業にて行う。				
授業概要					
Hip-Hop/EDMなどビートミュージックの歴史から制作方までを学び提出楽曲をSoundcloudでシェアします。					
到達目標					
最新ビートミュージックを知り、時代により遅れないアレンジ能力を高める。					
授業計画・内容					
【前期】1～4回目	ビートメイカーとプロデュースの違い/アレンジャーとしてのビートメイカー。スーパープロデューサーとは？				
【前期】5～11回目	Hip-Hop/BoomBapとは何か/Hip-Hopの起源/サンプリング/BoomBapビート制作方法				
【前期】12～15回目	Trapとは何か/Trapの起源/現在のPOPソングとしてのTrap/Trapビート制作方法				
【前期】16～18回目	Lo-Fi/ChillHopとは何か/Lo-FiHipHopの起源/ドラックビートとは/TapeやVinylサウンド加工/Lo-Fiビート制作方法				
【後期】1～5回目	Raggaeton/Dancehallとは何か/アフロビートとは/POPソングとしてのRaggaeton/ Raggaetonビート制作方法				
【後期】6～7回目	EDM/Houseとは何か/4つ打ちビート/Bigroom,Progressive,Future Houseそれぞれの違い/Houseビート制作方法				
【後期】8～13回目	Bassミュージックとは何か/ダウンビート/Dubstep/FutureBass/Bass系ビート制作方法				
【後期】14～18回目	新ジャンル研究/Synthwave,Darkwave,Cyberpunk,FutureCore, HardBassなど独自の発展をとげるビートミュージック研究				
評価方法	学期末の提出物、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Project Advising II		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Project Advising II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師実務経歴	実務経歴:20年。作曲/編曲/ピアニスト/音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、TV、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。前記経験を活かし、生徒一人一人のプロジェクトの構築や今後の取り組み方法などを授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
個々でフルアルバム(10曲前後)を作成。実際にリリースするまでの制作手法を教える、通年の個別Project。楽曲のクオリティー、アルバムとしての作品性、プロモーション、マーケティング、ブランディングを考えて実践する。さらに売上レポートも行い、次の制作につなげていく。					
<b>到達目標</b>					
インディペンデントアーティスト/クリエイター					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】1～5回目	コンセプトの決定とプレゼンテーション、制作実習:プリプロダクション、レコーディング、ミックス				
【前期】6～10回目	制作実習:プリプロダクション、レコーディング、ミックス中間発表-1				
【前期】11～15回目	制作実習:プリプロダクション、レコーディング、ミックス、アートワークデザイン、マーケティングとプロモーション				
【前期】16～18回目	制作実習:プリプロダクション、レコーディング、ミックス、アートワークデザイン、マーケティングとプロモーション、中間発表-2:プレゼンテーション				
【後期】1～5回目	制作実習:プリプロダクション、レコーディング、ミックス、アレンジメント、アートワークデザイン、プロモーション				
【後期】6～10回目	制作実習:レコーディング、ミックス、アレンジメント、アートワークデザイン、マーケティングとプロモーション・ブランディング、プレゼンテーション、リリースの準備、リリース				
【後期】11～15回目	売上報告、マーケティング・ブランディング・プロモーション				
【後期】16～18回目	アフターレポート、プレゼンテーション				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					



専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Playing Workshop II		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則別表上表記	Live Playing Workshop II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師実務経歴	実務経歴: 15年~20年。各曜日ごと各ジャンルごとのアンサンブル授業に当校の音楽ジャンルや音楽スタイルに精通したキャリアを持つ講師を授業ごとに5~6名を配置。				
<b>授業概要</b>					
課題曲を用いて本番を想定した、ステージ上で行われるバンドアンサンブルの授業。音楽のスタイルやジャンル別に、毎日行われている。各パートの講師がアンサンブルや演奏に関してのレクチャーを行う。					
<b>到達目標</b>					
バンドアンサンブルの技術やステージでの経験値を上げる。様々なジャンルやスタイルの音楽を身につける。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】1~5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】6~10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】11~15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】16~18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】1~5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】6~10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】11~15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】16~18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が用意する譜面・歌詞				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	SoundCreator Style Selection II		授業形態 / 必・選	実技	必修
	学則別表上表記	SoundCreator Style Selection II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	144回(288単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置学科コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師実務経歴	実務経歴:15年～20年 授業の内容に応じた現役プロの講師				
<b>授業概要</b>					
自身の望むスタイルに必要な授業を選択し、受講する。					
<b>到達目標</b>					
自身のスタイルの確立。 確立したスタイルに対するスキルの習得、向上。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】1～72回目	選択授業①	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
	選択授業②	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
	選択授業③	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
	選択授業④	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
【後期】1～72回目	選択授業⑤	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
	選択授業⑥	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
	選択授業⑦	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
	選択授業⑧	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。			
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	選択した授業ごとに資料を配布。				